

## ☆ 会長・副会長挨拶 ☆

暫定会長 石井康夫 (SSP90)  
暫定副会長 川端康晴 (SSP96)

ISU日本人卒業生およびISU関係者の皆様へ

4月12日をもって新組織「仮称JASI」が発足いたしました。暫定会長石井 (SSP90) 及び暫定副会長川端 (SSP96) より、新組織発足並びに暫定会長、副会長への就任に際してのメッセージをお送りいたします。

今回の新組織の発足に際し、発足に至るまでの皆様の多大なる努力と協力の結果が一つの結論を得たことは、全員の喜びであろうと思います。「新組織発足、おめでとうございます！」

JASI提案者、これまでISU-NACおよびメーリングリストの運営をあらゆる面で支えてくださった皆様、投票の際に各年代の票の取りまとめを頂いて頂いた方々、全体の取りまとめを快く引き受けてくださった元リエゾンの大貫氏に、敬意と多大なる感謝の意を表します。本当にありがとうございました。

さて、新組織発足により、卒業生組織の体制や運営に関する役割分担など、これまで不明瞭であった部分が明確化され、より運営効率が上がると共に、皆様を初めとする多くのISU関係者の方々のお力になる組織に生まれ変わります。しかし、今回の投票で様々な課題や問題点を明らかにし、今後これらの課題や問題を皆さんと議論していかねばなりません。特に、「JASI」という名称や会費・入会金の問題に関しては何人かの方々から意見が出ており、これらについては皆さんが納得するかたちで決めていかねばならないと考えております。今後これらの議論につきまちは改めてアナウンスを致しますが、その際には積極的な議論をよろしく願いたします。

今後のスケジュールと致しましては、今後様々な議題の議決や選挙等が行われることとなりますので、その負担を最低限に抑えるために、これまで大沢右二氏 (NASDA SSP92) のご厚意と多大なご尽力で運営されてきたISU-NACのメーリングリストをEグループ（従来のメーリングリストの全機能を引き継いだ上で、さらに会員限定でアクセスできるウェブサイトを持ち、名簿管理、ファイル共有、電子投票、掲示板管理、スケジュール管理などが自動で出来る無料サービスのことです。http://www.egroups.co.jp をご覧下さい。）へ移行させることも検討してきたいと思っております。

今年のSSPIはプレーメンで開催されました。有志の方々が、多くの卒業生、宇宙関連企業や団体からの協力により、「JAPAN DAY!2001」の開催を無事成功させてまいりました。昨年同様、日本の宇宙開発や文化を多くの方々で紹介できたことは、国際的にも非常に意義のあり、何より日本人卒業生が各界でみなさん元気に活躍しているということも他国のISU関係者にお知らせするという点は大変重要な活動だと評価しております。こうした有志の方々の建設的な活動を効果的に紹介し、興味を持った人たちが積極的に支援していける場を作っていくことが新組織の使命の一つであり、そしてその成功を我々の成功として共感できることが我々のアイデンティティであると思っております。

最後になりましたが、今後ともJASIの発展と何よりも我々JASIメンバーのために積極的な議論へのご参加とJASI活動・運営へのご協力を心よりお願い致します。

平成13年10月15日

## ☆ 生まれ変わったJASI ☆

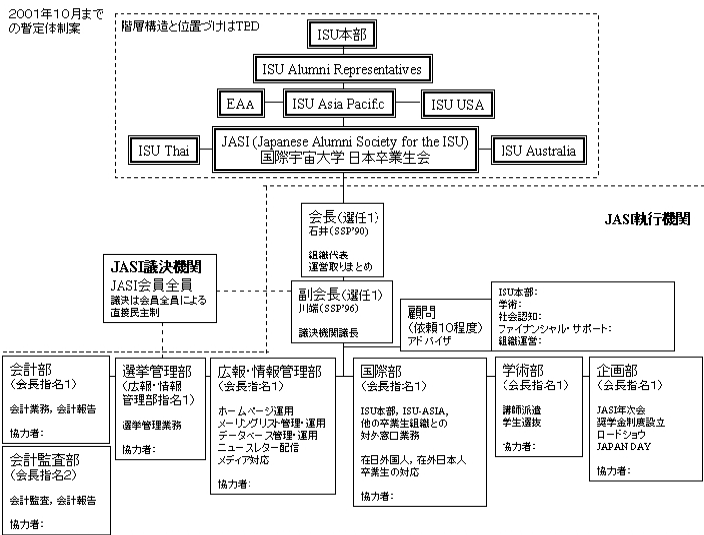
JASI執行部

国際宇宙大学日本卒業生会 (JASI: Japanese Alumni Society for the ISU) は、本会の前身である日本アルムナイクラブ (ISU-NAC: ISU Nippon Alumni Club、1992年に発足) の組織体制を全面的に整備するため、2001年4月12日に新組織として発足されました。JASIはISU卒業生やISU関係者間の交流活性化と、ISUを通じた日本における宇宙教育の普及促進を活動の基本理念とし、以下の活動を行ないます。

- ISUや宇宙、およびその開発に興味を持つあらゆる個人、法人、団体への情報提供と支援
  - ホームページ、ニュースレター、Alumni Road Show等を通じた国内外へのISU普及啓発活動
  - 日本人学生への奨学金制度確立と奨学生枠の拡充
  - SGF、会員による講演会活動、関連ゼミ等の支援
- ISU活動への経済的、人的、学術的貢献
  - ISU本部や他のISU卒業生組織の活動支援、ISU サマーセッションプログラム (SSP) やマスタープログラム (MSS)、及び年次シンポジウム等の講師派遣

- 会員間の情報交換促進および交流活性化
  - メーリングリストや関連データベースの管理運用、学生壮行会やJASIパーティの開催等

(組織体制を参照)



## JASI 発足の経緯と JASI 活動への協力をお願い

JASI 執行部一同

JASI 会員および ISU 関係者各位

日本で唯一のサマーセッションが北九州で開かれた1992年に発足して以来、ISU-NACは国内の卒業生同士の親睦を深める「クラブ」という機能に限定し、主にメーリングリストによる会員間の情報交換やパーティの開催等の活動を行ってきました。ところがこの数年間で、他の卒業生組織やISU本部、また国内の大学や団体等から、独自の判断や応分の役割分担などを求められることが富みに増えております。

最初にISU-NACが国際的に責任ある態度を迫られたのは、各国の卒業生組織の合意事項として、ISU理事会への卒業生代表理事を派遣する番が回ってきたときでした。しかし当時のNACは迅速な意見集約や意思決定の方法はなく、またその任につける人材も確保できなかったため、数年間にわたって他の卒業生組織に代表の座を譲ってきました。ISU-NACメーリングリストが現在に近い形で整備され、そこで議論と推薦により、ようやく日本人が卒業生代表理事に就任したのは1996-98年になってからでした。

また、アジア2番目の開催となったSSP'99 タイ・ナコーンラチャシマでのアルミニウムウィークエンドの運営に、アジアの仲間として現地への経済的・人的支援の要請に対応しました。また昨年のSSP'00 チリ・バルパライソでは、ISU本部とのタイアップ・イベントとしてJapan Day!を始めました。それらの準備・運営、企業へ支援依頼等の対外的活動を行うに当たって、国内外から信頼される、責任ある社会組織としての基盤が不可欠になってきました。こうしたNACを取り巻く状況の変化は、好むと好まざるとに係わらず、今後一層厳しくなることが予想されます。

これらを背景に、ISU-NAC会員の有志から、NACが単なる卒業生の仲良しクラブのままではいられない時代はすでに去り、今後は明確な活動理念と活動目標を備えた上で、国内外からの様々な期待に耐えうる活動が実施できる組織として整備しなおすべきという意見が挙がりました。そこで2000年5月よりISU-NAC再編に向けての討論会が何度か行われるようになりました。

その中で挙げられた現行ISU-NACの改善すべき点として、下記の3点が挙げられました。

- 組織構成、規約、活動内容が不明瞭
- ISU-ASIAへの協力、Japan Dayの開催、ISU卒業生奨学金制度への日本人学生の推薦支援、国内大学におけるISUの普及啓発活動等について、日本のISUコミュニティを代表できる体制にない。従ってISU本部や関連組織、企業等への対外活動も責任をもって実行できない。